

生活経済学会中部部会シンポジウム 「終わる」ということから生活を考える

日時:2019年3月23日(土)
14:00~16:00

場所:名古屋学院大学
名古屋キャンパスたいほう

〒456-0062 名古屋市熱田区大宝 2-4-45
*シンポジウム終了後 16:20~17:40 に
懇親会を行います

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ プログラム ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

14:00~14:05 開会・趣旨説明

14:05~15:15 講演

第1報告: 米山 高生(東京経済大学)
『『新たなアセット・シェア社会』から生活を考える』

第2報告: 鎌田 繁則(名城大学)
『生活者としての終わり方—現象学の視点から考える—』

15:15~15:55 討論

コメント: 大藪 千穂(岐阜大学)
リプライ
フロアーとの質疑応答

15:55~16:00 総評・閉会



ご案内

本学会では、2017年度第33回研究大会で
共通論題「生活経済における『生活』論の構想—
「終わる」ということから生活を考える—」という
テーマを取り上げました。

このたびのシンポジウムは、引き続き同テーマを
議論するものです。

※事前のお申し込みは不要です。

どなたでもご参加いただけます。

直接、会場にお越しください。

皆様のご参加をお待ちしています。



生活経済学会中部部会長
鎌田 繁則(名城大学)

会場へのアクセス

名古屋学院大学名古屋キャンパス たいほう
◆「日比野」駅下車 1番出口を出てすぐ左へ
(日比野交差点方面)。信号交差点を渡らず
左へ約400m。◆「西高蔵」駅下車 2番出口
から名古屋国際会議場方面へ進み、橋を渡
り2つ目の信号交差点(日比野交差点)を渡
らず左へ約400m。



問合せ:kamata@meijo-u.ac.jp(鎌田)

